

沿革 ～事業の多角化と挑戦の歴史～



創業者：栗本 勇之介
「世の人々にあまねく衛生的で綺麗な水を届けたい」

1909年 創業



1909
鉄管事業開始
水道及びガス用
鋳鉄管の製造開始

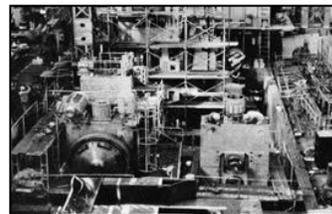


1935
鋳物事業開始
本社工場に
鋳物工場を増設



1958
建材事業開始
関東エリアで
軽量鋼管の製造を開始

1934
機械事業開始
産業機械等の
製造を開始



1940
バルブ事業開始
バルブの製造を開
始



1971
化成品事業開始
現滋賀工場を建設しF
R P 製品の製造を開始



セグメント構成と主な製品

社会
インフラ

安定性

上下水道、道路、通信、交通など、
人・生活において基盤となる施設。

売上比率
約**50%**

産業
インフラ

成長性

メーカーの生産活動に必要な機械、
プラントなどの製造設備。

売上比率
約**50%**

ライフラインセグメント

パイプシステム

水道用ダクタイル
鉄管



水道事業者

バルブシステム

水道用・産業用
バルブ



水道事業者
製鉄・電力等

機械システムセグメント

機械システム

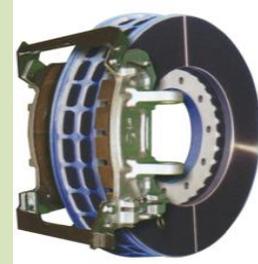
鍛造プレス
粉体混練機



自動車関連メーカー
二次電池メーカー

素形材 E N G

耐熱・耐摩耗鋳物
破碎機



鉄鋼、電力
砕石関連企業

産業建設資材セグメント

建材

空調用ダクト等の
建築資材



空調設備業者
ゼネコン等

化成品

FRP(M)製品



地方公共団体
電力会社、ゼネコン
フィルムメーカー

動画



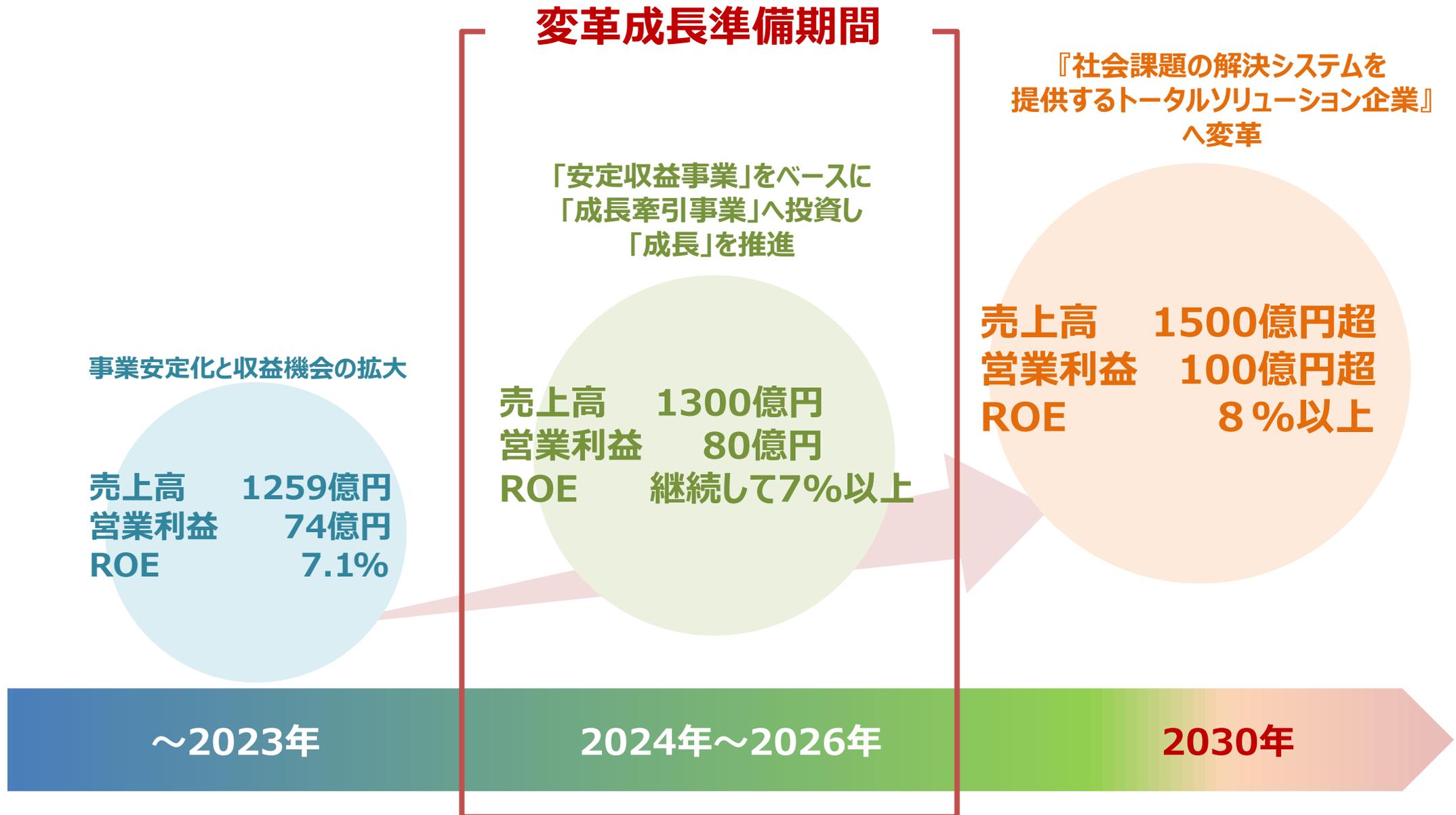


栗本鉄工所

連結

(億円)	25年4~12月期 (前年比)		26年3月期予 (前期比)	
売上高	933	▼ 1%	1250	▼ 1%
営業利益	56	▼ 6%	75	▼ 5%
経常利益	56	▼ 9%	74	▼ 13%
純利益	55	▲ 8%	70	▲ 1%

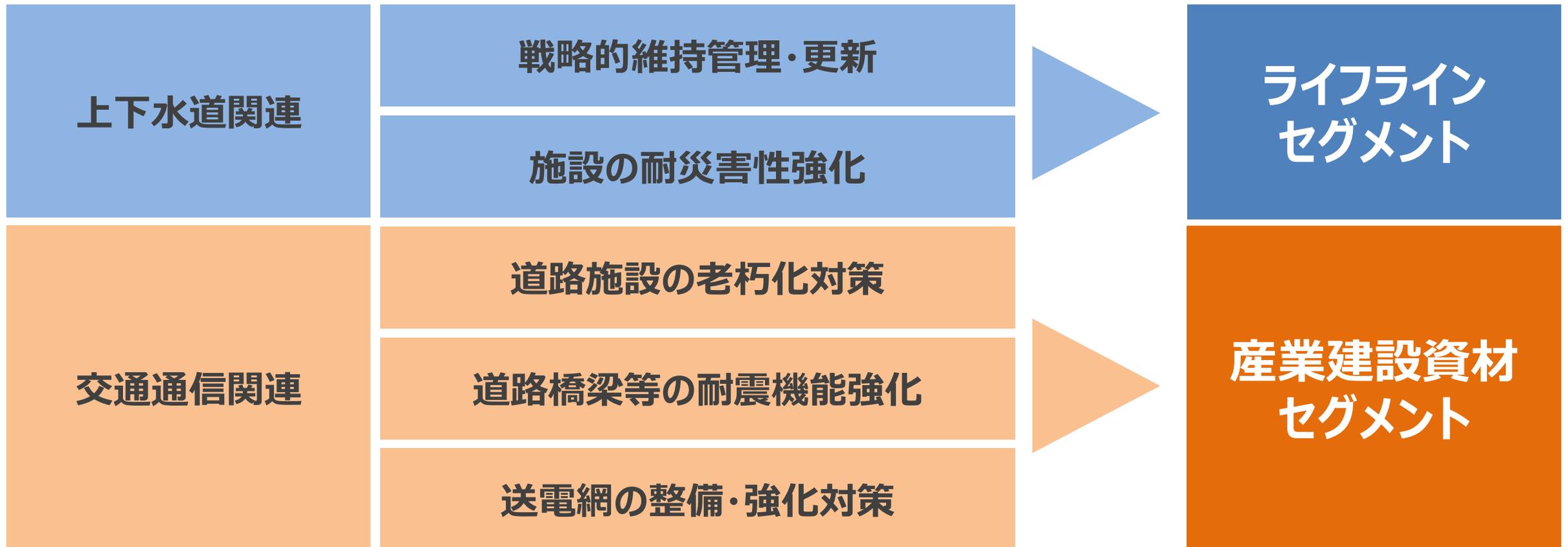
2030年に向けた成長イメージ



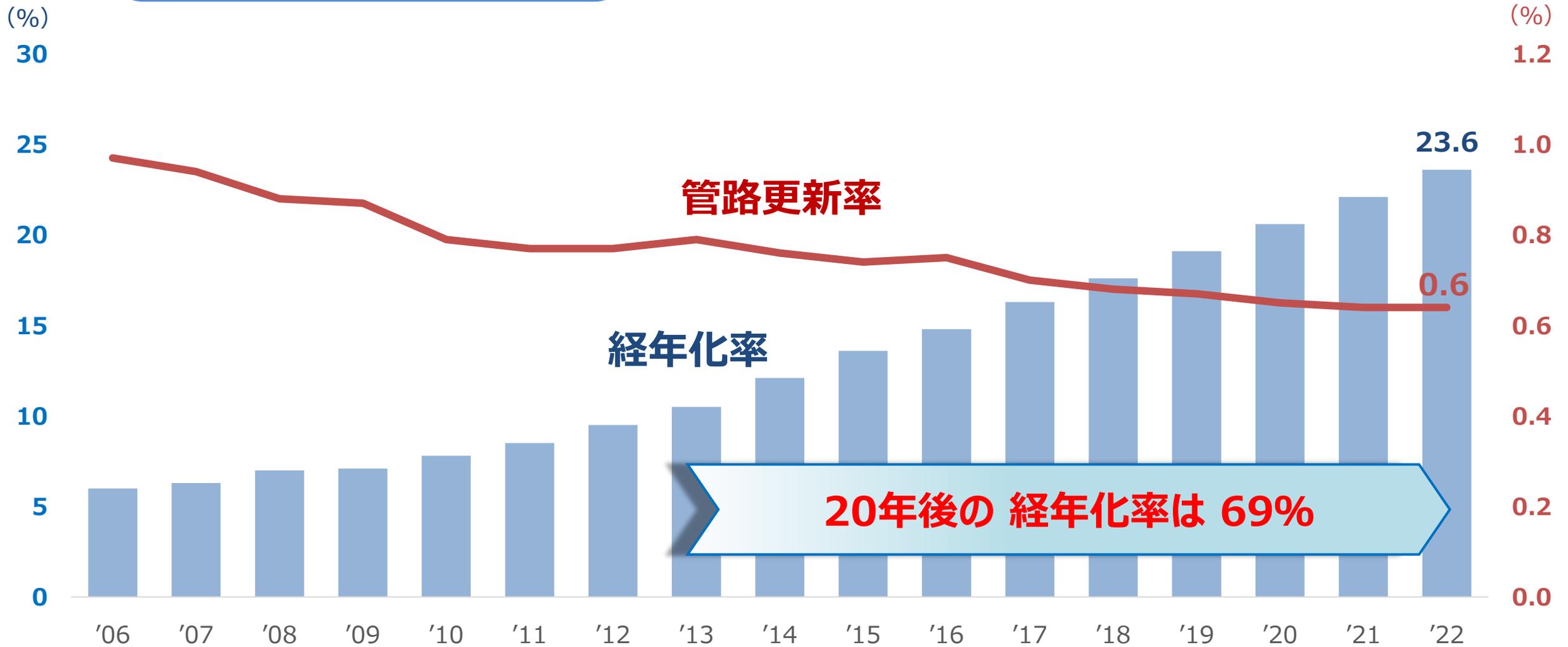
国土強靱化実施中期計画

- ・ クリモトは「上下水道関連」、「交通通信関連」施策分野で貢献可能

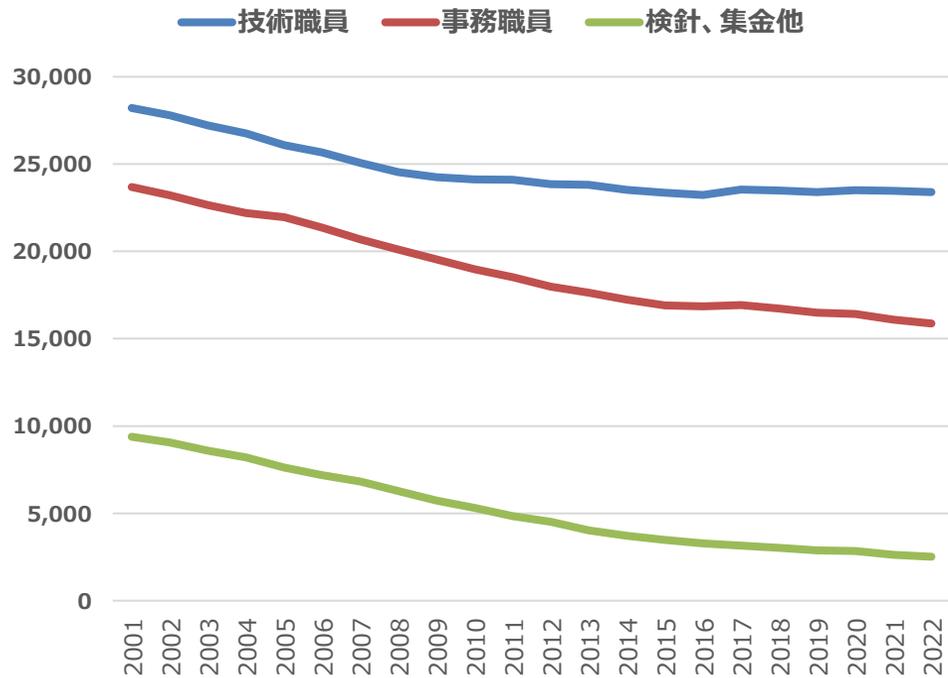
ライフラインの強靱化（抜粋）



水道管路の経年化率/更新率

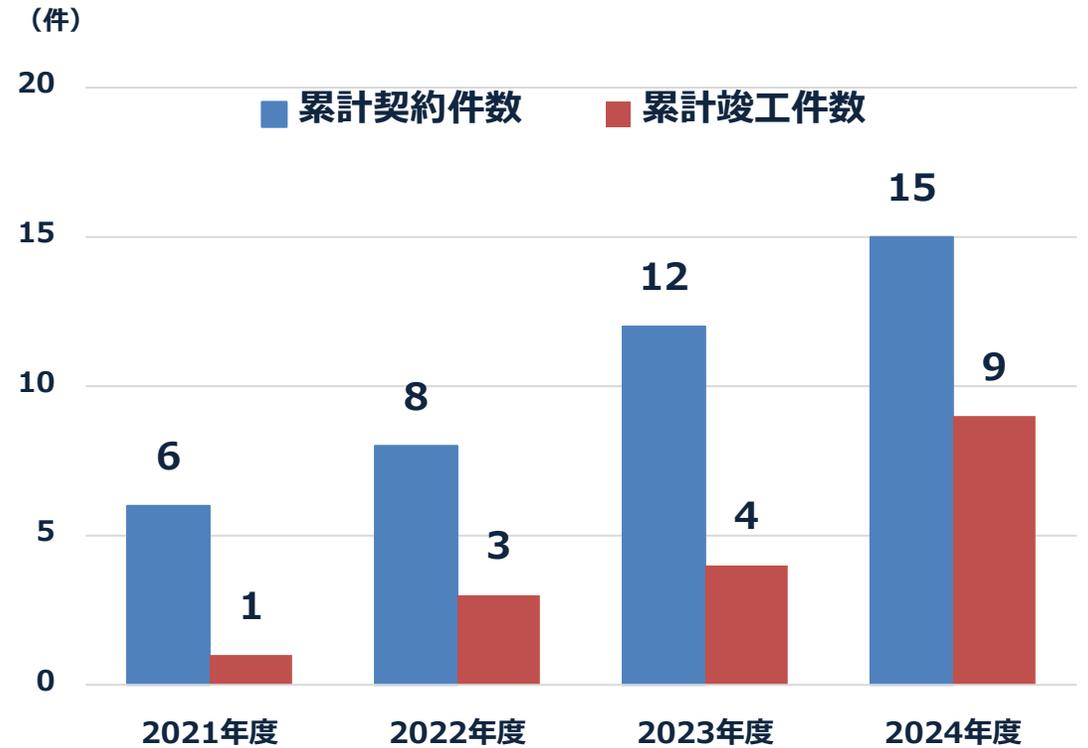


水道事業に携わる職員数



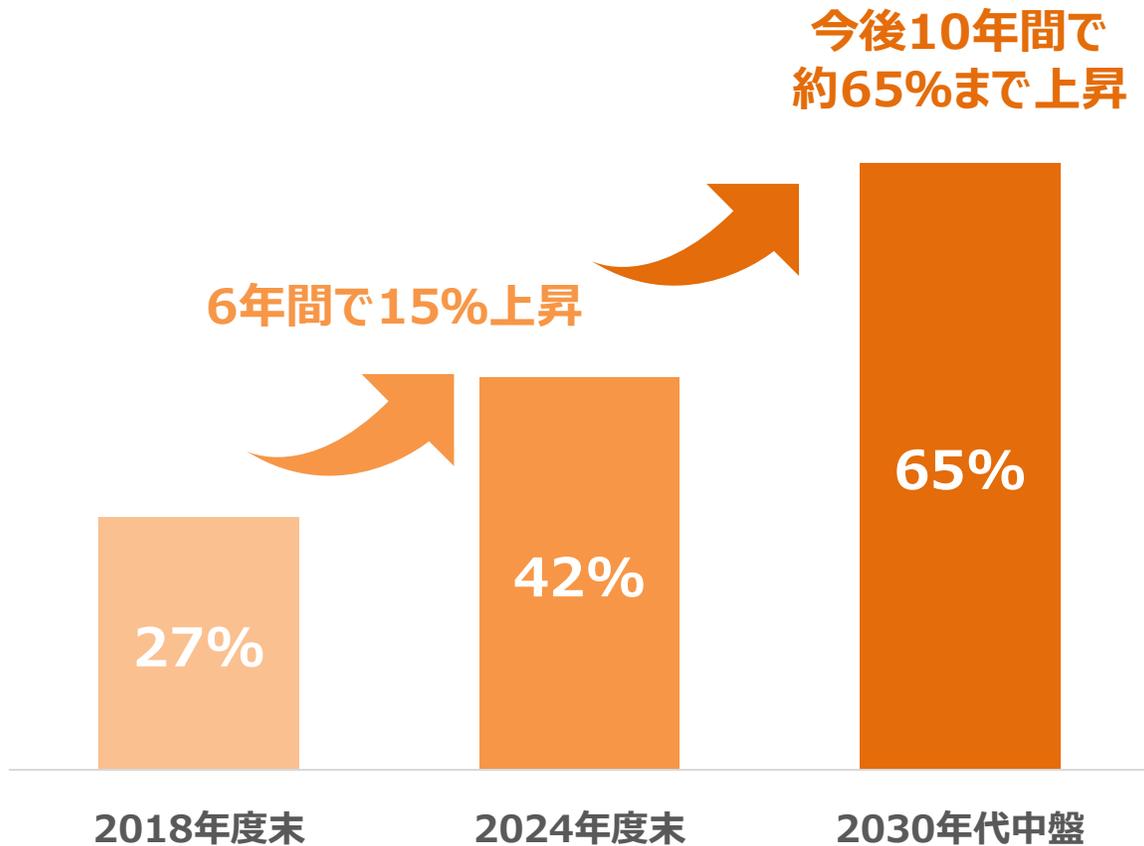
(公財) 水道技術研究センター公表資料より当社作成

DB方式実績

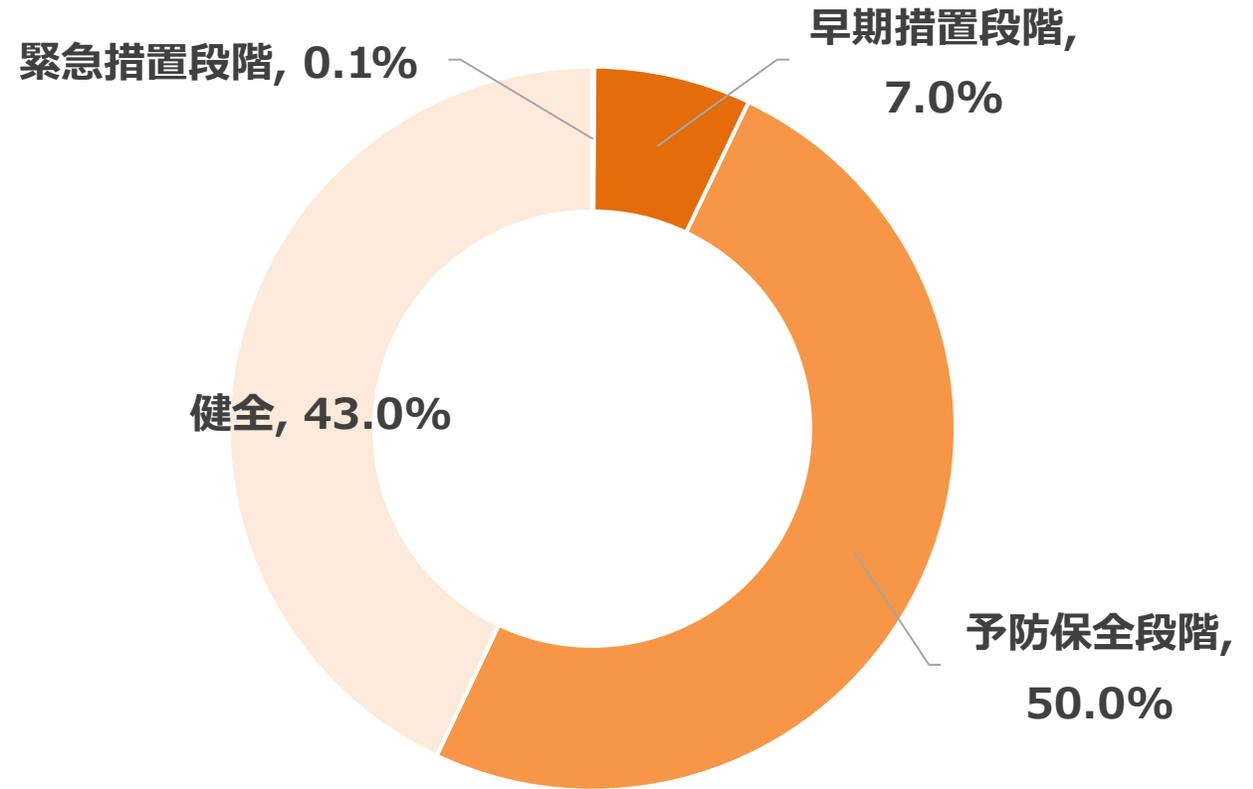


当社を含むJV（共同企業体）で水道事業者の課題解決に取り組み、
業務効率化、コスト削減、工期の短縮等を実現

建設後50年を経過した橋梁の割合



メンテナンスが必要な橋梁の割合

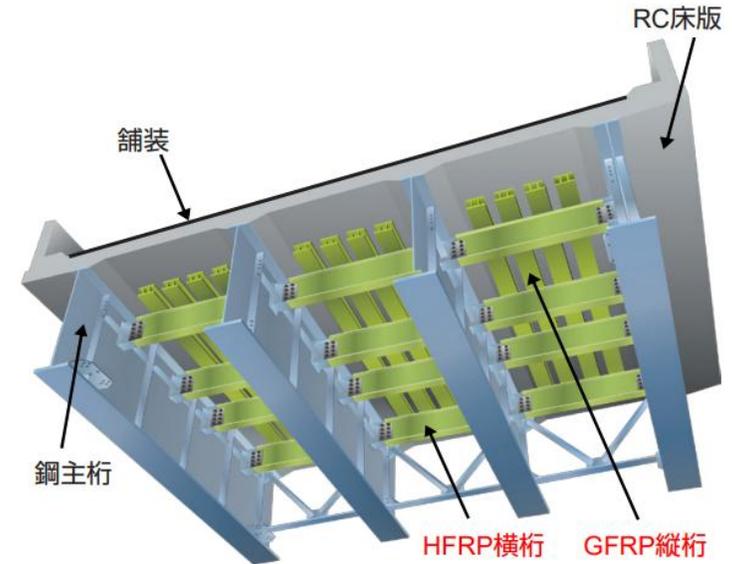


FRP検査路



- 鋼製検査路と比べて**重量が約1/3**であり、人力での施工が可能
- **耐食性、耐候性**に優れており厳しい環境下でも長寿命

FSグリッド



- 道路床版の**早期補修、延命工法の導入が加速する見込み**
- **交通規制の大幅な低減**かつ**短期間で工事**が可能
- 長期にわたる延命が可能

その他の成長分野

分野

事業

リソース（提供技術・機能・価値）

G X

- 発電施設 関連
- リサイクル 関連
- 二次電池 関連

- ✓ 水パイプライン
- ✓ 電力向け大型バルブ
- ✓ 再生骨材リサイクル
- ✓ 粉体混練機

防衛

- 基地・駐屯地の最適化 関連

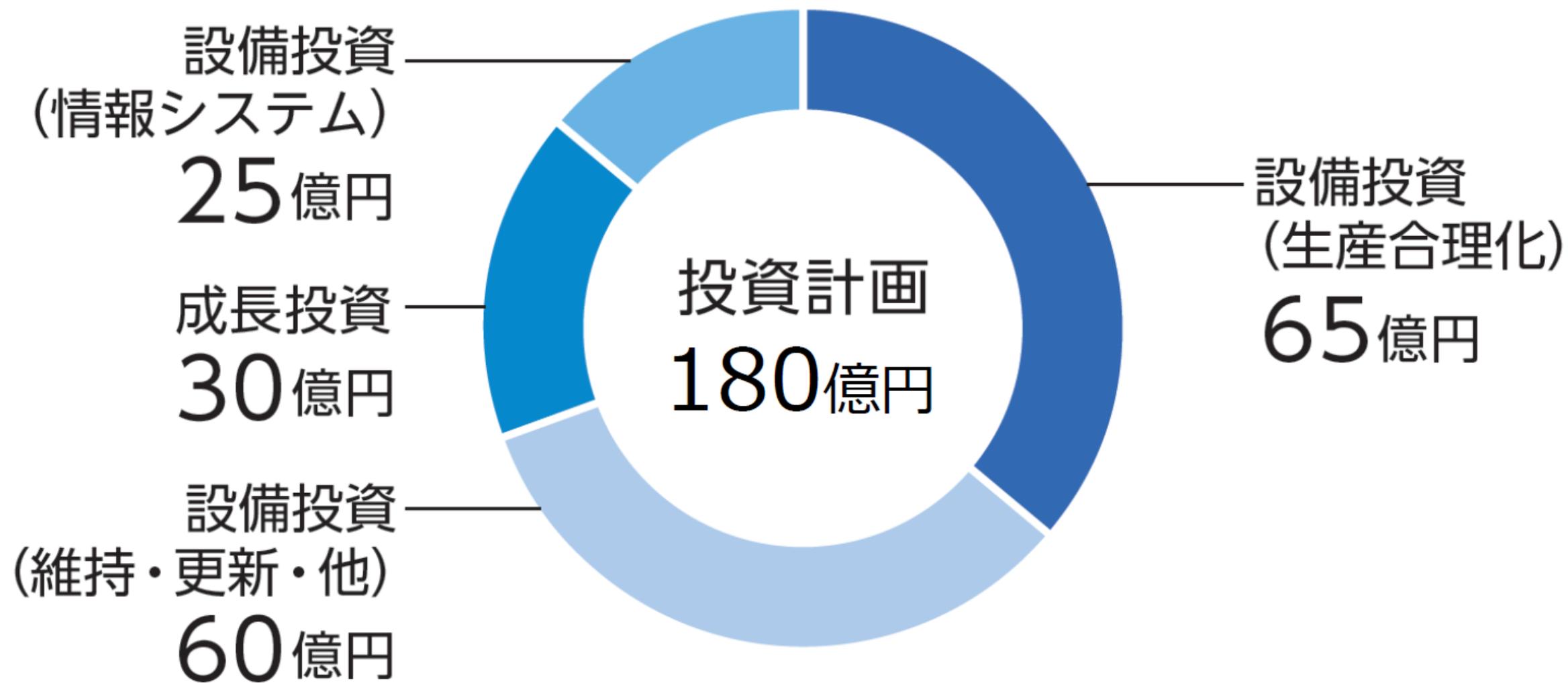
- ✓ 上下水道管・耐震貯水槽
- ✓ 防音・消音
- ✓ 移動式破碎機

AI・半導体

- 半導体工場向けインフラ 関連
- データセンター向けインフラ 関連

- ✓ 水パイプライン・ナバブル洗浄
- ✓ 電力ケーブル保護管
- ✓ 空調用ダクト
- ✓ 防音・消音

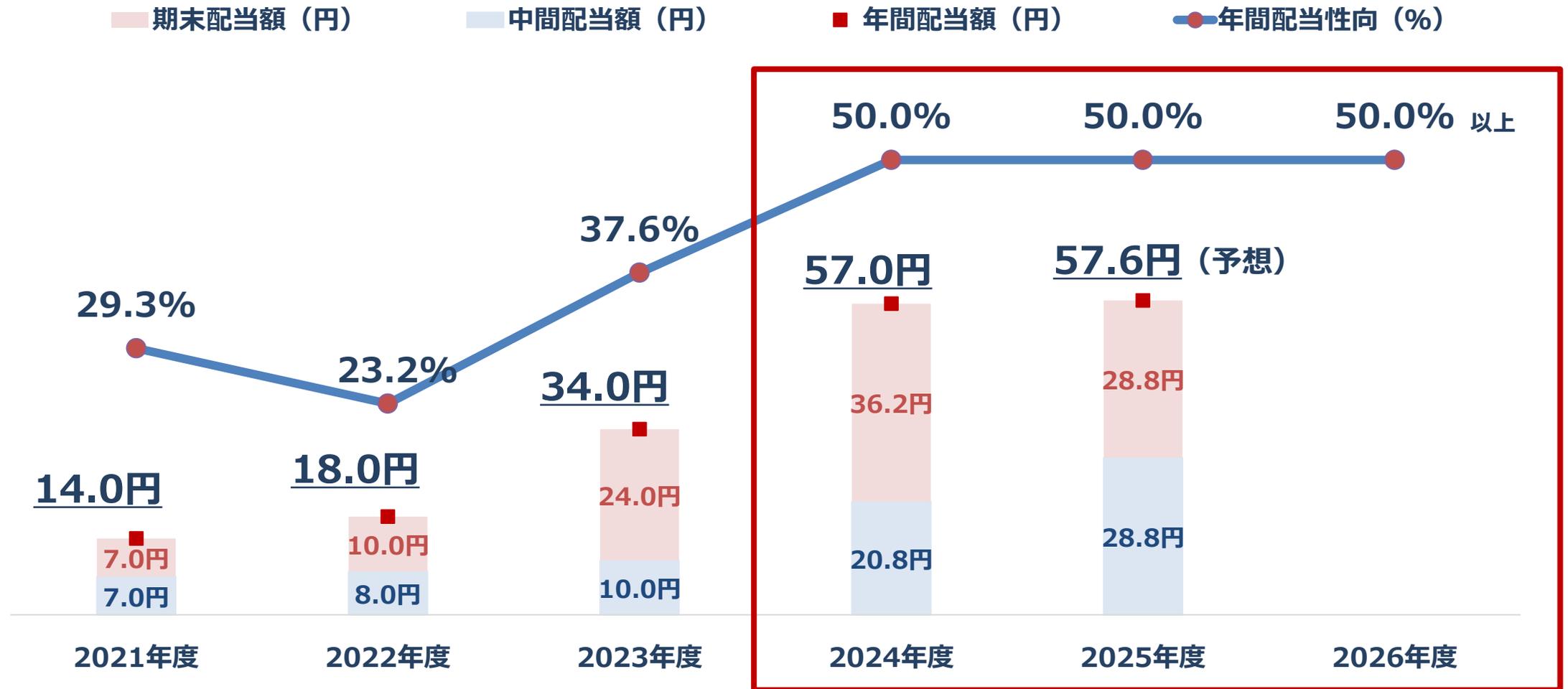
2024~2026年度投資計画 (金額は発注ベース)





株主還元

現中期経営計画期間中においては、配当性向 **50%以上** を目標とする



※2025年10月1日に 株式分割を実施 (5分割後の金額に修正)

現中期経営計画

栗本鉄 5602 東P

Preview Version

1680



50



3.06%

2200

1700

1200

700

200



Preview Version

21/2

23/8

26/2